

受賞者紹介

王 春蘭 (Wang Chunlan) (総合研究大学院大学物理科学研究科機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程5年)
第44回酸化反応討論会 優秀ポスター賞

2011年11月4～5日に大阪大学で開催されました第44回酸化反応討論会において優秀ポスター賞を受賞いたしました。

私は、総合研究大学院大学に入学し生物無機化学を専門とする藤井先生の研究グループで学位取得を目指して研究を行っています。今回の酸化反応討論会では、多くの研究者のレベルの高い講演を聴くことができました。私のポスター発表では、多くの研究者の方々に研究成果を聞いていただくことができ、また質問、助言など大変貴重な意見も頂きました。今後の研究に活かしていきたいと思っています。非常によい経験となりました。

私は、高原子価サレンマンガン錯体の電子構造と不斉酸化反応性の研究を行っています。キラルなサレン

マンガン錯体は、最も優れた不斉酸化触媒の一つとしてよく知られています。不斉酸化を担う活性種としてさまざまな高原子価マンガン錯体が提案されてきましたが、それらを合成した例はなく不斉選択性の機構は未解明のままです。私は、この問題を解決するため研究を行い、マンガン4価ヨードソベンゼン付加錯体の合成に成功しました。さらにこの錯体の構造解析にも成功しました。この錯体は、活性部位に大きな不斉が誘起されていました。この活性種使ってエポキシ化反応を行うと高い不斉選択性が観測され、不斉選択性の機構を解明する重要な手がかりを見いだすことができました。今後は、カウンターアニオンや酸化剤の種類により選択性がどのように変化するかを研究していきたいと考えています。



今回、私の研究成果を評価していただけたことを大変喜ばしく感じております。さらに研究を進める上での大きな励みとなり、今後も意欲的に研究に取り組んでいきたいと思っています。

総合研究大学院大学平成23年度(10月入学)新入生紹介

専攻	氏名	所属	研究テーマ
機能分子科学	望月 建爾	光分子科学研究領域	氷の融解過程と内殻分光に関する理論研究
	TRAN NGUYEN LAN	理論・計算分子科学研究領域	Theory for calculating molecular magnetic property with ab initio quantum chemical method.
	SETSIRI HAESUWANNAKIJ	分子スケールナノサイエンスセンター	Polymers stabilized gold nanocluster: preparation and catalytic studies.